

第5回目

発行責任者

員弁組連研部会長

蓮成寺 藤田 智善

城山浄真寺 下間 哲照師



第5回目のテーマ

「他人からどう思われているのか、気になって仕方ありません」

《話し合い法座での意見》

- ・ 職場では合わせていけないと仕事にスムーズに動かない。
- ・ 若い人たちとはシエネレーションギャップを感じる。
- ・ 昔に比べ、職場の改善も行われているが、不満や人間関係は難しさは変わらない。
- ・ 「あるがままに」は理想的で羨ましいさもあるが、ルールを無視してまではダメ。
- ・ 自分では自分らしさはわからない。人と接して初めて気づかされること。

とだ。

- ・ 若いときは家事、子育て、仕事などで自分らしさなんて考える余裕もなかった。

・ 親友、同僚は大切。悩みを聞いてくれたり、相談ののってくれる。

・ 本が好きで「論語」は大変なになった。

・ 父に助けられた。父の存在、後ろ姿には大きく影響を受けている。

・ 困ったとき「阿弥陀様」がついるからなんとかなる、と思ったら、何とかなってきた。

【第5回目のまとめ】

回を重ねるごとに、お互いにペーすをつかんできたのか、当初の硬さはなく、どのグループも和やかに話をされていたのが印象的でした。

また難しいテーマで、私の説明が不十分なところを、皆さん方でテーマを分析しながらトークを進められて

第1期 連研だより

2017年1月
月いる姿もあり、素晴らしいことだと
2 思いました。さすが人生の荒波を乗
1 り越えてきた経験の豊かな方々ばか
りで、ゆっくり聞きたい濃い話もあ
りました。

2 0
人生には様々な問題にぶち当たる
ことが多々あります。解決の仕方、
生き方は人様々です。人生いろいろ。

「如何に生きるか」も大切だと思
いますが「何を抛り所にして生きて
いるのか」で人生は大きく変わって
くると思います。それを教えてくだ
さったのが祖母です。

祖母がいつも言っていた言葉があ
ります「仏様はいつでもどこでも見
てくぐる聞いてくぐる知ってくぐる」

「世の中には三つの目がある、自分
の目、他人の目、もう一つは仏様の
目」仏様の眼差しはみんなのことを
わけへだてなく見つめるやさしい目。

世の中気になることが多い。「気のす

るな」と言われても気になってしよ
うがない。
一番気にせなあかんののは「仏様の眼
差し」であります。



講師 西教寺 木村智雄師



《仏事作法おさらい》
① 経本の扱いは丁寧にしましょう。

・ 経本は、畳に直に置かず膝の上や、
机の上などに置くようにしましょう。
・ 開く前に、両手で頭上にて頂いてく
ださい。

・ ページをめくる際は、1ページづつ
めくるようにしましょう。
・ 経本を閉じる際も、頂いてください。

② 次回は、焼香を体験して頂きます。

第 1 1 期 連研だ よ り 2 0 1 7 年 1 2 月